

## 今後の AI 事業に関する方針について

この度、台湾で開催された世界最大級の AI イベント「Supermicro Innovate! APAC 2025」へ参加したことをきっかけに、当社では AI 事業における今後の方針を以下の通り決定いたしました。

### ① 風冷から液冷方式への設計の見直しについて

当社では、既存のデータセンターで採用してきた風冷方式（部分的に液冷を併用）を、今後全面的に液冷方式へ移行する方針を正式に決定しました。これは、Supermicro 社の最新液冷技術「DLC-2」を搭載したサーバーに対応するため、インフラ全体の設計を見直すものです。

この方針により、B200、GB200、H200 などの最新モデルに加え、既存の旧型機種、さらに今後登場予定の B300 シリーズなど、多様なサーバー機種に対応可能な柔軟な受け入れ体制を整備してまいります。

中核となる DLC-2 は、従来の液冷システムと比べて約 40%の省電力・節水、最大 98%の熱回収率、50db 以下の静音性を実現する次世代液冷ソリューションであり、サーバー導入・配管・冷却装置などを含む初期設備投資も最大 20%削減可能とされています。

このような液冷方式の導入によって、冷却効率が大幅に向上し、高密度なサーバー配置が可能となることから、当社の AI データセンターをご利用いただくお客様に対して、以下のような具体的なメリットを提供することができます：

- ラック効率向上：少ないラックで多くの GPU を搭載可能
- 高い安定性：冷却性能向上により、熱トラブルのリスク低減
- コスト最適化：電力や運用にかかる費用を抑え、全体のコスト負担を軽減

今後の AI データセンター整備において、省エネかつ高性能なインフラ基盤の構築をさらに加速させてまいります。

### ② Supermicro「B300 シリーズ」の国内展開決定

Supermicro 社の最新 GPU サーバー「B300 シリーズ」について、正式に日本国内での取り扱い、販売を決定しました。これにより、国内 AI 関連の需要に対し、性能・信頼性の高い製品を迅速に提供できる体制を構築してまいります。

### ③ H200・B200 の販売拡大および液冷設計への対応強化

あわせて、すでに実績のある「H200」「B200」モデルについても、日本市場での販売拡大を図ります。技術サポート体制や物流の整備も進め、より安定した供給体制を整えてまいります。

その他、電力についての進捗、当社は東京電力より 3MW の電力供給申請済みです。

新都ホールディングスは、AI インフラ分野において、国内外のパートナーと連携しながら、最適な技術・電力・冷却環境を備えた持続可能な計算力供給基盤の構築を目指してまいります。



新都 AI パーク（イメージ）